

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	西区自治協議会シンポジウム 「空き家対策は地域づくり～迷惑空き家にしないための取り組み～」 【事業費予算 500千円】
事業目的・概要	市民と市との協働の要として役割を果たしてきた西区自治協議会において、区自治協議会の活動を発信し、地域課題の解決に向けて、下記テーマにより、地域と共に考えるきっかけとなるようなシンポジウムを開催した。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数 など)	西区自治協議会シンポジウム 【日時】 令和元年11月10日(日) 午後2時40分～3時50分 【会場】 西新潟市民会館2階多目的ホール 【テーマ】 「空き家対策は地域づくり～迷惑空き家にしないための取り組み～」 【内容】 区内自治会の取り組み事例や他都市の地域での空き家見守り活動等、実際に取り組みを行っている方からパネルディスカッション形式でお話いただいた。 【参加者】 140名
事業の評価 (地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・ 効率性の評価など)	<p>【地域課題の抽出とその解決策】 多くの地域で、所有者が分からなく、管理が行き届かない「迷惑空き家」、いわゆる迷惑な空き家についてさまざまな悩みを抱えていると聞いており、地域での空き家見守り活動など、実際に取り組みを行っている方々から話を伺うシンポジウムを開催した。</p> <p>【アンケート結果】 1. 調査方法：来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。 2. 回答：106名 (1) 本日のシンポジウムはいかがでしたか [非常によかった・よかった] … 90.6% (2) 内容はいかがでしたか [大変参考になった・参考になった] … 91.5%</p> <p>〈主な感想〉 ・空き家の予防として、住民同士と自治会との良好な関係が必要だとわかった。 ・当事者の具体的な取り組みが聞けて良かった。 ・自治会内で意見交換してみたい。</p> <p>【気づいた点】 ・一旦、迷惑空き家になってしまうと、ねばり強い繰り返しの対応が必要となり大変だということがパネラーの苦労話を聞いてわかった。 ・迷惑空き家になる前の取り組みが大切と改めて感じた。 ・あいさつや声かけなど近所づきあいが基本。住んでいる時期も含めて所有者と良好な関係が大切ということがわかった。 ・空き家のリーフレットやさわやかトーク宅配便等を活用し、市の取り組みを知って欲しい。</p> <p>【成果と課題】 ・アンケートの結果、「よかった・参考になった」との声が9割を超えた。地域での空き家見守り活動など実際に取り組みを行っている方々の話を聞いてもらうことで空き家についての現状や課題について伝えることができた。 ・管理不全な空き家にしないため、所有者への意識啓発が必要と感じた。 ・区内の約1/4の自治会から参加いただいた。さらに多くの方へ知ってもらうために周知方法に工夫が必要と考える。</p>
備考	